

製品名: ATM ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21042**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:351kD;Observed MW:351kD

抗原情報

遺伝子名	ATM
別名	ATM;Serine-protein kinase ATM;Ataxia telangiectasia mutated;A-T mutated
遺伝子 ID	472.0
SwissProt ID	Q13315
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

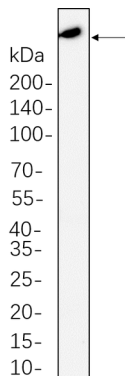
細胞局在: 核。細胞質小胞。細胞質、細胞骨格、微小管形成中心、中心体。主に核。エンドサイトーシス小胞にも β -アダプチンと共に存在する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PI3/PI4 キナーゼファミリーに属する。このタンパク質は、リン酸化を

行う重要な細胞周期チェックポイントキナーゼであり、腫瘍抑制タンパク質 p53 および BRCA1、チェックポイントキナーゼ CHK2、チェックポイントタンパク質 RAD17 および RAD9、DNA 修復タンパク質 NBS1 など、さまざまな下流タンパク質の調節因子として機能する。このタンパク質および近縁のキナーゼ ATR は、DNA 損傷に対する細胞応答およびゲノム安定性に必要な細胞周期チェックポイントシグナル伝達経路のマスターコントローラーであると考えられている。この遺伝子の変異は、常染色体劣性疾患である毛細血管拡張性運動失調症と関連している。 [RefSeq 提供、2010年8月]

研究分野

-

画像データ



A549 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を ATM ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。